



JPI催しのご案内

2014
10

公益社団法人日本包装技術協会

開催要領

会場 公益社団法人日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
日時 平成26年10月30日(木) [第1部] 10:30~12:00 [第2部] 13:15~15:00 [第3部] 15:15~17:00
参加費 JPI法人・個人会員:無料 / 一般:3,240円(1部会、税込)

第1部 第54回包装情報ステーション

10:30~12:00

【テーマ】「JIS S 0021改正 包装—アクセシブルデザイン—一般要求事項」について

2000年にJIS S 0021 高齢者・障害者配慮設計指針—包装・容器が制定されてから、10年以上が経過しています。その間にこのJISを世界へ提言し、包装設計において広く活用いただくために、2011年に国際規格としてISO11156Packaging - Accessible design -

General requirementsが制定されました。そこで、ISOの内容に準拠する形でJISの改正が行われ、2014年5月にJIS S 0021 包装—アクセシブルデザイン—一般要求事項として公示されました。その経緯や、改正内容の背景、ポイントを紹介させていただきます。

【講師】大日本印刷株式会社 包装事業部 企画本部 ユニバーサルデザイン開発室 室長 包装専士 古田 晴子氏

第2部 第81回包装情報研究会

13:15~15:00

【テーマ】日本食文化のグローバル展開

我が国における人口減少・高齢社会の進行が予想される中、我が国の今後の農業・食品産業の振興を図るためには、国内市場の一層の深耕を図るだけでなく、食ビジネスの海外展開を考える必要がある。とりわけ昨年末に和食がユネスコ無形文化遺産に登録が決まるなど、我が国の食文化に対する海外の関心が一層高まっており、この世界に誇る我が国の文化資産である日本食文化を効果的に発信し、国産農林水産物・食品の輸出拡大・海外展開につなげることで、我が国

の農業・食品産業の成長産業化を推進することが重要となっている。こうした考え方から行われている食文化政策についての説明を行う。とくに食文化の海外展開を考える上で、来年開催されるミラノ万博、2020年の東京オリンピックなどの国際的なビッグイベントが開催される予定となっており、その中でどのような準備を行っているのかについても説明を行う。

【講師】農林水産省 食料産業局外食産業室長

【コーディネーター】キッコーマン食品(株) プロダクト マネジャー室 副参事 包装管理士
 キリン(株) R&D本部 パッケージング技術研究所 主任研究員 包装専士

山口 靖氏
 桑垣 伝美氏
 菅原 啓氏

第3部 第82回包装情報研究会

15:15~17:00

【テーマ】食品包装技術におけるロングライフ化

近年世界では食糧の廃棄ロス削減の問題(Save Food)から食品の保存期間を延ばすことの重要性が認識されてきています。そこで今回はまず食品の保存技術全般について説明すると共に、最近様々な食品がロングライフ化されてきていますが、それらのロ

ングライフ食品について惣菜類から缶詰に至るまでの実際とそれらに使用されているであろう食品包装におけるロングライフ化技術全般を説明します。合わせて今後の展望などについてもお話ししたいと思います。

【講師】増田食品開発コンサルティング 代表 包装専士

【コーディネーター】凸版印刷(株) 生活環境事業本部 事業戦略本部 マーケティング部 環境ビジネスチーム 部長
 花王(株) 包装容器開発研究所 室長

増田 敏郎氏
 川田 靖氏
 稲川 義則氏

本研究会は包装や物流に関する専門的知識の普及を目的としたものであり、受講のためには同分野での経験が必要です。

10月研究会参加申込書

研究会に参加を希望される場合には、下記申込書にご記入のうえ、本紙をFAXして下さい。(FAX番号 03-3543-8970)

法人会員 ・ 個人会員 ・ 一般		いずれかに必ず○を付けて下さい	
会社名		TEL	
所在地	(〒)	FAX	
参加者	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部・第3部
	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部・第3部
	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部・第3部

10月度の見学会はございません。

第52回全日本包装技術研究大会

【札幌大会】～開催のご案内～

- 【主催】公益社団法人日本包装技術協会
【期 日】平成26年11月20日(木)～21日(金)
【会 場】札幌コンベンションセンター
【発表内容】包装又は包装資材に関する研究／新技術・新システム・新素材の紹介／廃棄・リサイクルの容易性／包装の現場における改善・合理化の事例／省力・省資源・コスト低減の事例など
【部 会】①包装資材部会 ②包装ラインシステム化部会 ③食品包装部会 ④生活者包装部会 ⑤医薬品包装部会 ⑥化粧品包装部会 ⑦輸送包装部会 ⑧電気機器包装部会 ⑨環境包装部会 ⑩パッケージデザイン部会

聴講者募集用パンフレットは10月中旬に完成する予定です。詳細は事務局にお問い合わせ下さい

◆お申込及びお問合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-10F 担当:小橋 TEL:03-3543-1189 e-mail:kobashi@jpi.or.jp

2014パッケージングフォーラム

～2014日本パッケージングコンテスト入賞作品記念発表会～

- 開催日:平成26年10月9日(木) 10:30～11:55
主 催:公益社団法人日本包装技術協会
会 場:『TOKYO PACK2014』会場内 東6-セミナーステージ6
参加費:無 料

10:30～10:55	『明治ブルガリアのおヨーグルト900g、480g(テトラ・トップ・ベース)』 明治 技術開発研究所 パッケージングソリューションセンター 大平 祐歌 氏
11:00～11:25	『UD機能を付与したファンデーション用コンパクトケースの開発 —アプリマヴィスタ ディア コンパクトケース(スポンジアップ)—』 花王 包装容器開発研究所 上席主任研究員 岡部 健一 氏
11:30～11:55	『フイン6本入り輸送箱(縦入れから横入れへ)』 コムバックシステム 営業部 神野 平 氏 コムバックシステム 営業部 包装設計担当課長 平原 透 氏

申込専用パンフレットにて参加お申込み下さい

◆お申込及びお問合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 パッケージングフォーラム係 TEL:03-3543-1189 e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

TOKYO PACK 2014

2年に1度、このご機会をお見逃しなく!本展は入場無料ですので(要ご登録)、ぜひお誘いあわせの上、ご来場いただき、会場にて“包装のチカラ”を実感ください!

- ①公式Webサイト(<http://www.tokyo-pack.jp>)にて、来場事前登録受付、出展者情報検索機能(カテゴリー・キーワード検索)、出展製品のご案内、併催行事の詳細のご案内をご用意しております。ぜひ、アクセスしてください。
- ②開催規模:出展者数680社・団体/出展小間数2,489小間(8月末現在)の規模にて(前回比10%増)、開催を予定しております。包装業界を牽引する出展者が皆様をお迎えします!ぜひ、会場にお越しいただき“包装のチカラ”を肌で感じてください!
- ③多彩な企画も開催!次世代高機能包装、医薬品包装、3R、パッケージデザイン、世界の包装商品、包装の未来など様々なテーマのもとに、特別企画展やセミナーなどを開催いたします!
- ④スマホサイト、スマホアプリなどもご用意しております。ぜひ、ご活用ください!

- 会 期 2014年10月7日(火)～10日(金)の4日間 10:00～17:00(来場登録受付9:30開始)
会 場 東京ビッグサイト(東京国際展示場)東ホール全館
同時開催 食品開発展2014 8日～10日 西ホール ※相互入場可能

◆お問い合わせ先◆ (公社)日本包装技術協会 2014東京国際包装展事務局 TEL:03-3543-1189 e-mail:t-pack@jpi.or.jp

【個人情報の取扱いについて】

- 個人情報(「(公社)日本包装技術協会 月例研究会」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り、配布する場合があります。
- 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
公益社団法人日本包装技術協会 担当:佐藤 TEL:03-3543-1189 FAX:03-3543-8970
●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <http://www.jpi.or.jp>